

## 会 議 録

<b>会議名 (付属機関名等)</b>	第7回 キセラ川西エコまち協議会みどり部会	
<b>事務局(担当課)</b>	土木部 公園緑地課	
<b>開催日時</b>	令和3年1月13日(水) 15~17時	
<b>開催場所</b>	川西市役所 庁議室	
<b>出席者 (敬称略)</b>	<b>委員</b>	武田、三井、山田、東(代理)、荻田、寺尾、下村、飯田(代理)、人見、富永(代理)、坂上、林谷、福庭、木山、寺田
	<b>事務局</b>	酒本、堀内、渡辺、小早川、則竹(コンサルタント)
<b>傍聴の可否 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由</b>	可	傍聴者数 1人
<b>会議次第</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会あいさつ</li> <li>2 資料確認、出席者紹介</li> <li>3 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キセラ川西せせらぎ公園の利活用の状況について(資料1)</li> </ul> </li> <li>4 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどり部会の今後の在り方について(資料2)</li> <li>・この指トマレプロジェクトについて(資料3、資料4、参考資料1、参考資料2)</li> </ul> </li> <li>5 その他(懸案事項等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用ガイドラインにおけるロゴについて(参考資料3)</li> <li>・キセラ川西せせらぎ公園にかかる評価方法について</li> <li>・キセラ川西せせらぎ公園の将来イメージの共有化について</li> </ul> </li> </ol> <p>閉会</p>	
<b>会議結果</b>	別紙審議経過のとおり	

## 審 議 経 過

### 1 開会あいさつ

### 2 資料確認、出席者紹介

### 3 報告

- ・キセラ川西せせらぎ公園の利活用の状況について（資料1）

事務局

資料説明（資料1）

部会長

はい、ありがとうございました。

そうしましたらご報告いただきました資料1に関しまして、ご意見ご質問等よろしくお願いいいたします。

いかがでしょうか。副部会長にお伺いしていいかわからないのですが、

資料左側の「定期的に行われているイベント」の欄に、メンテナンスイベントと書いてありますね。メンテナンスをイベントと名付けて、メンテナンスイベントにしてしまうというのが良いアイデアかなと思います。まさに市民が一番関わりやすいことですし、公園に対しても公園がよくなることが目に見えるような、良い取り組みだなと思うのですが、今年度に入ってからは出来ていない状況でしょうか。

また、資料の右側の定期的なイベントが無いというのは、今年度はやはり少し状況的に難しかったということでしょうか。

副部会長

今年度は確か12月に大そうじ選手権をやっていると思います。

実は私も一市民的に、NPO法人市民事務局かわにしでの活動をバックグラウンドに持ちながら、市民ワークショップにはずっと参加してきました。初回からではないのですが、途中から、公園をどうしていくかというところからずっと関わってきて、一連の市民ワークショップが終わる最後に、「これからも公園のことを自由に話せる場を作りませんか」と言うことでキセラカフェを提案しました。それが今もずっと2ヶ月に1回の開催で続いているのですが、そのキセラカフェで、「作る部分のワークショップに関わったけれども、その後も何か関われる事をしようよ」と、参加者の男性が提案されて、それを大そうじ選手権という事で年2～3回重ねてきています。今年もめげずに12月に行い、最近はそのような取り組みに関わっている人だけでなく、新たに近隣企業や事業者さん等も一緒に入ってください、いつだったか大雨の日に市長も傘をさしながら草抜きをしてくださいました。そのような感じです。

#### 委員

メンテナンスイベントですが、先ほどおっしゃっていましたが参加者の方が、毎回発案していただけるのですけれども、基本的には7月ですね、公園のオープンが7月でしたので、公園のオープンをお祝いしてあげよう、お誕生日で綺麗にしてあげようということで、7月と12月の年2回は基本的に開催されるのかなと感じています。

そうした中で今回コロナの関係で、7月はできなかったということがあるので、それを受けて「7月は出来なかったので、是非とも」ということで12月は開催されたという形です。なので、基本は年2回で、あと単発というか、随時、間が空いたらやるかみたいな感じで開催されているかなと思っております。

#### 部会長

はい、ありがとうございます。

ぜひこれからも、こういう定期的な続くイベントなどが根づくってというのはすごいなと思うので、期待しております。

他にはいかがでしょうか。ちょっとすみません、私からいいでしょうか。

この8月から11月の4ヶ月間の芝生の養生っていうのは、市民の皆さんのリアクションはいかがでしたでしょうか。

しょうがないなっていう感じでしたでしょうか。そこまで不満は出なかったですかね。はい。

#### 副部会長

質問っていうのもうちょっとご説明いただければと言う感じですけど、この資料の1番右下の評価基準のことですね。

定量的評価だけでなく新しい評価、これは私共市民活動センター、男女共同参画センターも指定管理事業をさせていただいて11年が終わろうとしているのですが、それを常々しながら常に全ての数字が右肩上がりになるわけではないなと感じています。ですので、そういう量的な評価だけでなく、そこで事業をさせていただいた中で、どんな質的变化があったかっていう事が何らかのかたちで、出せないかなと私達なりに考えてはいるのですが、この公園においてそういうのは、どの様に考えていけばいいでしょうか。アドバイスのお話をいただきたい。

#### 部会長

これは後の懸案事項の中で、議題としてはご準備いただいていたのですよね。今簡単にご説明いただける事があればお願いします。

#### 事務局

はい。キセラ川西せせらぎ公園の供用が開始されてから3年が経過して、新規事業者の属性や利用の多様性、日常の利用のされ方など、生活の質、QOL＝クオリティーオブライフの向上について評価する方法が必要ではないかといったご意見をいただきました。また公園周辺への社会的、経済的な波及効果についても重要な項目であるにとらえて、様々な視点で新しい評価が必要と考えております。具体的には事務局の方でこういった指標の具体的な案はございませんので、そういったところにつきましてはご意見をいただければというふうに考えております。

#### 部会長

はい。もう少し何かアイデアを、といったところですかね。

#### 副部会長

こういうものの評価の基準というのは、できれば日本全国で共有できるようなスタンダードな物ができたらいいかなと思っています。例えば色んな事業のメディアで扱われた数とか、具体的に関わった方がその後どのように変わっていかれたとかですね。市民活動センターなどは、「育む」施設と思っているので、市内で活動している人が何人ぐらいになったとか、その方々がどういうふうに捉えられているだとか、そういうところかなと思っていますのですが、本当にこれは悩ましくて、色々な方のお知恵をいただいて、皆で基準化みたいなことができればいいかなと思っています。

#### 部会長

是非みどり部会でも継続的にこのあたりは検討していきたいなと私も思っておりまして、アメリカでは、社会福祉の分野の評価手法としてソーシャルレスポンスビリティをどうやって測るかみたいなことが、定量的に捉えられるような試みがなされているような、評価されている事例などもありますので、私どもも勉強しながら、取り組めるような指標化については、このキセラ川西せせらぎ公園でもやっていければなと思っております。いずれにしてもそこを利用された方がどういうふうな変化を感じ得たのかというようなことが、多分指標としては重要になってくるのかなというふうに思うので、そのあたりをどうやって図っていくかっていうことを、できれば簡易に、かつ継続的に測っていけるような、そういう指標化の取り組みが重要なのかなというふうに思っているところです。また後で少し懸案事項のところ、議論ができればと思っております。他にはなにかございますか。

#### 委員

リサーチをしていただいて、このア・イ・ウと三つの期間に分けて表がありますが、定期

的に行われているイベントがほぼほぼ同じで変わっていないっていうところは、どんなふうに評価をすべきなのかな、という疑問です。

部会長

事務局の方でいかがですか。

なかなか新規で継続的にこういうことを定期的にやりたいって方は今のところあまり増えていないという状況ですかね。はい。

委員

よろしいでしょうか。公園緑地課です。

定期的には開催されている部分の内容、メニューとしては大きくは変わらずとも固定化されてきている、固定化しているから定期的っていうお話なのですが、例えばグラウンドゴルフのお問い合わせとかがあります。

そういった場合に、こういうかたちで定期的に行っていますよ、というご案内をして、そのグループに参入いただくようなかたちをとっているのですが、新たなグラウンドゴルフのグループは増えないような、できるだけそこで交流の場をとって欲しい、といったことがあります。

新規メニューが増えていないというのは、事実としてあるのかなとは考えております。以上でございます。

部会長

はい、ありがとうございます。

そうですね、今みたいな案内の仕方もすごく重要だなと思いますね。

色々なグループがそれぞれ個別にやるというよりもキセラ川西せせらぎ公園を通じて、何か交流の場にさせていただくという、機会を作っていただくという点も大事なかなと思います。

一方で、委員のご指摘の通り、なかなか新しく定期的に活用しようっていう団体とか、人が増えていないというのは事実なのかなと思いますが、このあたりは今年度に限っていると、なかなかそういう機会は難しかったのかなと思いますので、来年度以降もこういった新しいチャレンジの芽を、みんなでサポートしながら育てていけるような、そういう体制づくりみたいなものが必要なのかなという感じがいたします。

ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。またもし何かありましたら戻っていただいて結構ですので、一旦議事のほうを先に進めさせていただければというふうに思います。

ここから議事に入ります、議事を2つご準備いただいておりますが、まず1つ目のみどり部会の今後のあり方についてということで、資料2ですね。ご説明をよろしく願いいたします。

#### 4 議事

##### ・みどり部会の今後の在り方について（資料2）

事務局

資料説明（資料2）

部会長

はい、ありがとうございました。

というようなことを考えていただいていることかと思いますが、これにつきましてもご自由にご意見いただければと思います。

もう少し、こういう役割を果たすべきだとか、こういう体制があるのではないか、ということをお気づきのところがあればご指摘いただければと思いますが、いかがでしょうか。

はい、お願いします。

委員

この令和4年度までに目指す体系というところの中で、こういう組織体を作っていくということなのですが、これはキセラ川西地区だけで完結をされるおつもりなのかな、というところですか。

私、中心市街地活性化協議会のタウンマネージャーとして出ておりますので、駅前の中心地区との一体的な考え方っていうのが必要ではないかなというふうに思っています。

我々が調査する中で、駅前からキセラに移動する人がほとんどいない、キセラから駅前に移動する人もほとんどいない、というような調査結果も出ている中で、その辺を一体的にとらえるという考え方をお持ちかどうかというのを伺いたいです。

部会長

はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。

委員

すみません、公園緑地課です。

ここに図示しているみどり部会との構成図の部分というのは、ベースとして考えているのはキセラの地区になります。ただ、先程おっしゃっていただいたように、駅との繋がり

とかつて必要なことだと思います。そうした中で、例えば交通部会のほうではサイン計画  
とって、駅からの回遊性とかそういうかたちの議論しておりますし、みどり部会、つま  
りこの場ですね、ここに実際に地域の方々が入っていただくということで、例えばタウ  
ンマネージャーさんを通じて中活との連携を模索するとか、そういう形になるのかなって  
いうぐらいの、決まったかたちではないのですが、今はそんなイメージをしています。だ  
から、ここに書いています、市民さんから発生するグループであるとか、事業者という部  
分に、駅周辺の方々が入っているというイメージでは、現行ない状態です。固定したも  
のではないのですけれども、ちょっとぼやとした説明ですみません、よろしいでしょ  
うか。

#### 部会長

はい、ありがとうございます。

ご指摘いただいた通り、確かにあの公園のことを公園だけで閉じてやっていってもしょ  
うがないと思いますので、市全体もしくはもう少し広いエリアへの広がりも含めてい  
ろんなことを考えていくのは重要かなというふうに思います。

この部会の出自からいうと、やはりキセラ川西エコまち協議会からの出発なので、これを  
衣替えしてキセラ川西以上の枠組みで、というのは難しいかもしれませんが、ご指摘い  
ただいている中身はまさにその通りだと思います。なので、今お答えいただいたみたい  
に、委員の構成員として連携していただくとか、もしくはもう少し積極的に、この新しく  
できる協議会っていうのを、色々な他協議会とも協働しながら物事を考えていったり、進  
めていったりするような協議会の性質だ、ということを出し出すというような、そんなこ  
ともあってもいいかもしれませんね。

おそらく左側のプレーヤーの方での連携っていうのもさらに重要で、協議会だけ頭でっ  
かちで連携していても、結局実態として現場のところで連携ができてなければ、おそらく  
あまり意味が無いと思いますので、そちら側で公園と、例えば藤ノ木さんかく広場と一緒  
に何かイベントをやったりだとか、連携しながら運営していったりだとか、そうい  
う形で川西市の駅前からこの公園までのエリア全体で盛り上げていくという、何かそう  
いう機運を作って行けるようなことは大事かなと思います。なので、そのあたりもぜひ踏  
まえながら、体制というよりはむしろ、検討内容の項目としてそういうことも眼中に含ん  
で全然問題ないというような、そういう運営ができるような組織体になっていくのがい  
いのかなという、そんな気がいたします。ありがとうございます。他にはいかがでしょう  
か。

#### 委員

令和4年度までに目指す体系の図を見る中で、パークマネジメントできるような人だと  
か団体だとか、そういうものを求めてきたという経緯があって、それが私長らくご無沙汰

していますキセラカフェの中で、プロジェクトができたということであれば、これは嬉しいことだなと思いますので、この図のようなかたちで進まれるのだろうなと思います。その一方事業者側の協議会ですが、今までもキセラの色々な事業者だとか、我々商工会も含めて、協議を重ねてきていると思われるのですが、実際のところ、4年度末までに目指すかたちと比べて、どこまで今地元の事業者さんはできているのかということをお聞きしたいですし、事業者さんにモチベーションというか、そういう機運はあるのかっていうところを聞いてみたいなと思います。市民側の動きは心配してないのですが、事業者さんどうなのかな、ということなんです。

#### 部会長

はい、ありがとうございます。

この指トマレのほうは次の議題にも出てきますので、少しそちらに譲るとしまして、今こちらの事業者の方の検討状況だとか連携状況だとか、いかがでしょうか。もう少し、ご提供いただける情報がありましたら。はい、お願いします。

#### 委員

事業者さんの方なのですが、実は阪急オアシスさんが丁度できたぐらいの時にメンテナンスイベントをやることになり、お声かけをして、キセラの地区内ですが、事業者さん達にこういうことをしますので、というご案内をしました。その中で、賛同いただいてご協力いただいた事業者さん方に、まずは、ここ図示していることですね、こういうことを考えているのですが、やっていくためにどういうことをすればいいのか、ご意見が欲しいです、ということで、まずお声かけをして集まっていただきました。

今はですね、自由なかたちでご意見をいただくというかたちの場を設けているのですが、今おっしゃっていただいたように、例えば「公園に桜の森をつくる」など、1つの目標があったら非常にやりやすいのですが、今こういう漠然としたエリアマネジメント的なお話ですね、各事例とかを紹介しながらいろいろやっているのですが、機運が高まったかといえ、なかなかそうではないのかなと思います。今の状態で言えば、例えば各事業者さんの共通点の中で、「この地区が全部綺麗だったらいいよね」とか、「安全安心だったらいいよね」とか、そういった共通点の中で、まずは各事業者さんが掃除をしていると、それを共通発信していくことで、まずは1つの、共通で何かやっていく取り組みになるのではないかと、そういったことを探り探りでやっているところで、まだ意見交換会からやると協議会に向けて一歩ちょっと進むか進まないか位のところで、令和4年度末までにこの段階までいくのかっていうのは、ちょっと今の段階では見通せない状態です。

ただ、定例的に集まって情報交換をするだとか、情報として、こういうことをうちではしているよとか、そういうのを共有しながら模索しているような、そんなかたちでございませぬ。



#### 委員

すいません、うちの財団は事業者協議会にも参画しており、定例会議に参加しております。要は事業者さんですので、自分の企業にどれだけメリットがあるかどうかっていうような天秤にかけられると思っていて、この地域に進出したからやっぱりメリットあると皆さん思っておられると思います。

やはり公園が成り立っているから企業活動も成り立っていると思っておられると思います。今取り組んでいるのは、清掃活動ですね。あの地域が綺麗だったら我々企業が発展するかなという思いはお持ちですので、そういった活動には参加してもらっています。

それを一步踏み込んで、あの地域が盛り上がれば、自分達の企業活動も盛り上がるのではないかというかたちで、何かをしようという機運はあるのですが、なかなか個々の事業主さん達が、自分達の企業にどれだけメリットがあるのか天秤にかけて判断されるので、皆でやるならやろうかなという思いだと思います。

ただ、具体的に何をやるかというところにはまだ至ってないというのが現状ですので、もう少し時間があって、もう少し話し合えば何かするかたちになるのではないかと。

公園というのは人々が集まるので企業にとったらすごくメリットがある公園と思っておられますし、逆に市民団体が活発な活動されたら、お客さん自身がその店にお越しになったら企業が潤うわけですから、その辺の思いは強くお持ちだと思いますよ。

#### 部会長

はい、ありがとうございます。なにか今後こういうアクションしたらどうかとかございますか。

#### 委員

今、こういうときなのでみんなで揃って街中賑やかにやろうということが、ちょっとづらくなっているところは何とも難しいところでしょうけども。

常常その意見交換会からそういった協議会に変えていきたいという話を聞きながら、何かこの明確なビジョンだとか、そのリーダーシップを発揮される企業だとか、そういうところが出てこない結局、事務方さんがしんどい思いしているだけだなと思う。どの企業さんが先陣切ってやってくれるのかなと、それしか今は思わないです。

#### 部会長

はい、ありがとうございます。

いろいろご苦労いただいて、まず清掃活動からっていうのはファーストステップとしてはすごくいいと思います。先ほど大そうじ選手権がそうですけど、目に見えて環境がよくなることに自分たちが貢献できて、結果もわかりやすいので、どんなまちづくりでも結構美化活動から始まるっていうことが多いと思います。

次のステップの一步が多分大きくて、ここで何ができるのかっていうのがなかなか大きな段階のステップなのかなという気がします。

このキセラ川西地区の場合はですね、大きなヒントは、この黄色とオレンジをいかにつなぐかという、そういうチャンネルになるのかなという気もしています。上の図だと破線になっている部分がひとつ実績になっていて、ここら辺がバシッと決まれば、企業さんとしても、自ら汗をかいて何かイベントを一緒にやるということだけではなくて、少し協賛だとか協力っていうかたちで、公園の担い手に加わっていくという、そういうスタンスもあり得るのかなと思います。右側の黄色の企業団体だけがこっただけで何かを完結してやらないといけないということではないっていう様な、そういうことは普通のまちづくりとか、普通の地域づくりから比べると少し利点としてはあるのかなっていう気もするので、何かそういうところはこの真ん中にあるみどり部会の立場としても、うまくつなげて、実際の公園の動きに事業者さんたちの関わりしるを増やすっていう様な、そういうチャンネルを持つことは重要なのかというふうに思います。なので、引き続き事業者のことは事業者がっていうふうには割り切らずに、キセラの公園に関することだというふうにして包括的に扱えるような、何かそういうプラットフォームでこの場はありたいな、というふうには改めて思います。

なので、ぜひ企業さんで協働して「こういうイベントをつくることができるのではないか」みたいな、そういうきっかけだとかチャンネルだとかがあれば、ぜひこういう場を通じてですね、働きかけていただけるといいのかなというふうな気がいたします。

確かに令和4年度末まであまり時間がないような気がしますので、どこまでできるかあるかもしれませんが、しっかり芽生えつつある芽を育てていけるかどうかという、大事な時期なのかなと思います。ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

はい、お願いします。

#### 委員

先ほどの件でちょっと参考になるかはわかりませんが、中活協でにぎわい調査をして、中間報告の粗データであって正式な報告書ではないのですが、キセラ川西地区にいた430人ぐらいの方に10月に平日と日曜日にアンケート取った結果、「キセラ周辺に来る用事は何か」と聞くと、50%が「買い物」と答えています。ですので、買い物しに来た方がその公園の利用者を支えているのか、もしくは公園に遊びに来た人がその買い物へ行っているのかっていうちょっとその相関関係はわからないのですが、結果としては50%の方が買い物で来ているということで、企業さんを巻き込むには一つの理由づけになるのかなと思います。

#### 部会長

はい。貴重なデータありがとうございます。

そうですね、なんかそういうふうに変化を取ってということもすごく大事ですね。そういうふうに見える化をして何か次の施策を考えていくというのが大事だと思います。ありがとうございます。

そしたら先ほどの件とも関係しますので、続いて議事のもう一つのこの指トマレプロジェクトについてもご報告いただいて、それで併せて今の件も含めてですね、もう一度議論させていただければと思いますので、資料3以降ですかね、ご説明の方よろしくお願いたします。

・この指トマレプロジェクトについて（資料3、資料4、参考資料1、参考資料2）

事務局

資料説明（資料3、資料4、参考資料1、参考資料2）

部会長

はい、ありがとうございました。

熱心に議論していただいて、回数もすごいですね、重ねていただいて、現状ここまでできていますというような報告になったかと思います。

いかがでしょうか。ご質問ご意見でも結構です。よろしくお願いいたします。

今キセラ川西プラザさんがお越しですね、すみませんありがとうございます。

いかがでしょうか、お気づきの点何でも結構です。

キセラ丸の使用ルールは今どんなところまで行っている感じですか。

副部会長

「キセラ丸～この指とまれプロジェクト～」を提案した張本人なので、なんかここに座っているのが居心地悪いのですが。そもそもですね、何で手を挙げたかみたいな所から言うと、まず市民ワークショップにずっと参加してきて、参加している時に何をやりたいかっていうのでチーム分けするようなときがあったのですが、私は市民活動を1から始めているんな市の講座とかに育てていただいて、NPO法人を作って今まで指定管理事業をさせていただいてきたという自分の体験から、やっぱりそういう循環がもっともっと川西の中で、起こったらいいなと思っているので、キセラ川西せせらぎ公園をつくることから、運営管理を考えましょうっていうチームをつくりたくて手を挙げました。それが「コンシェルジュチーム」という名前になって、ずっとそれが続いているっていう感じですね。やっぱり部会長が「シビックプライド」とか「我がこと感」を持ってとおっしゃるように、皆で考えて皆で、地方行政の方が随分大変なことしてらっしゃる中ですけども、一市民として皆がそれぞれ関わりながら公園を「我がこと感」を持ってと思ってずっと愛

着を持って、育んで、慈しんでいくことができれば、という思いがベースにあります。その上で管理棟は最初なかったけれども、絶対いるのではないですか、みたいな話から、夢に思わなかったのですが、本当にすごく尽力して下さったと思うのですが、現実のものとなって、そしたらそこを使うルールとかも実際に活動している者達が知恵を出し合って、一応ルールを定めてはみて、使い勝手によってはどんどん改善させていくようなかたちで、大体の大枠みたいなのはできている状況です。ですけれども、それはどこにもオーソライズされてないのでそれを利用適用していいのかどうか、というところで止まっています。

部会長

はい、あとは先ほど少しおっしゃられたオレンジ側の動きが令和4年度末の予定だとパークマネジメント団体へとなっておりますので、今ご説明いただいた資料4では、運営管理組織になっていますね。

というような位置付けに育っていくといいなというような思惑だと思いますが、そのあたりいかがでしょうか。

副部会長

ここにまとめてくださった通り、こつこつと関心を持って下さった方々と一緒に、まずはオープニングを自分たちでやってみようということで、20人位かなと思っていたら7~80人ですかね、結構たくさんの人達に来ていただいたり、各務原市の公園の方にも来ていただいたりですね。そんなところから、私は最初道筋だけつけられたらいいかなと思ったのですが、やはりこういう動きって経験の有無っていうのが結構大きな差になって、皆さんの動き方がちょっとどっち向こうかな、みたいな感じになってきたので、じゃあ私ももうちょっとアクセル踏んでみようかなと思ひまして。将来的に自分たちも組織とその事業を担えるようになっていく、かつて市民事務局を立ち上げたように、そういう過程を、難しいのですが、アクセル踏んだりブレーキ踏んだりしながらやっているところです。これからの時代っていうのは色んな多様な主体と一緒にやっていくダイバーシティであったり、いろんな主体を巻き込んでのインクルーシブなことだったりというのは不可欠なことだと思います。なので、そういう動きを伴いながら組織化して、行政の方ともご相談しながら然るべき仕組みを考え、もちろん広報なども然るべき段取りを踏んで、出来るようになったら、「こういう事ができる街なのだ」という、他の事業でも川西市民にもっと希望が出てくるというか、生き生きするかなと、というような事を考えています。

部会長

はい、ありがとうございます。

そういう意味ではみどり部会はそういった動きを最大限バックアップするような機関な

のかなと思いますので、是非皆様から何かサジェスションですとか、あと、公園緑地課の仕事だと思わず、ぜひキセラ川西が川西市にとって重要なプロジェクトだと思っていただいて、各部局でもですね、何かこういうコラボレーションができるのではないかと、こういう事業があるので、一緒にできるのでないかと、というのを、公園はただの場所ですので、それを使っているんなことを実現して、特に市民が主役となって色々なことを実現していくような、そういう場所に育てていくための事業ですとか、サポートですとか、そういうことがあればぜひこの場で共有させていただいて、活用させていただければと思いますので、各部局で何かご意見とか、お持ちの事業ネタですとかございましたらぜひ教えていただけると幸いです。

#### 委員

すみません、この運営管理組織ってということについてなんですけれども、公園を使うプレーヤーと、その運営管理をしていく人たちっていうのは、私は別物だと思っています。しっかりとした運営管理の上で、公園を使ってこんなことしたいとか、キセラ丸を使ってこんなことしたいっていう人たちが、自由にとというか、一定の自治のもと活発に活動するには、やっぱりプレーヤーとその管理運営っていうのは、私は2階建てで、明確に分けるべきじゃないかなと思います。

ある意味、それを一緒にしてしまうっていうのは、良い面もありますけれども、ちょっと違った危険性を孕んでいるのかな、という様な事を正直思います。プロジェクトの中で副会長を中心に色々な議論を重ねられているっていうのは重々承知をしておりますし、そこに関わっている市民の方を私も個人的にたくさん存じ上げているんですけれども、公園は、公園緑地課、行政の方が窓口になって今スタートアップをやっておられるので、今誰でも事前相談して自由に使えるっていうけれども、キセラ丸の方は、正直どうやったら使えるかっていうことの告知がされてないように感じます。公園を使った人がセットでキセラ丸も使いたいとなったときに、今現状では使えない、イベントをしているのにキセラ丸は閉まっている、というような、何というか、スピードがずれている部分っていうのが、内部で事情知っていると全然理解できるのですが、普通に傍目から、市民から見たときに、公園は使えるのに何でこっちは使えないのっていうところを感じるところですし、その辺はちょっと整理をする必要があるのかなというふうに正直思います。

#### 部会長

はい、ありがとうございます。重要なご指摘だと思います。

#### 副部会長

すみません、その運営していく人とプレーヤーが違うってところをまさに今やっているところで、ほとんどの方はこれがしたいあれがしたい、という考えを持っていて、そのし

たいことをする為の事務局業務みたいなものが必要で、したいことをするために、どの部分に参加できるかっていうのを、今ちょっと整理しかけているところです。事務局的な動きっていうのを、私たちの言葉で言うと中間支援組織なのですが、それが面白いという人はね、大体1対9ぐらい。少ないですね、2対8かな。だから今まで関わってくださった方も、そこじゃないけど、プレーヤーの部分だったら色々アイデア出せるよ、できるよ、とか、それを今メロンパン・クリームパン・ジャムパンみたいな感じで、この間、まさに1月9日に出た話なので。そこをうまくクリアしないと、せっかく一緒にやってきた方達も分裂しちゃったら残念なので、今丁寧にやろうとしているところです。

使い方のルールのところは、まさにおっしゃった通りで大体原案はできているので、ぜひここでご審議いただいてその後ルールとしてオーソライズされたら、もっと次のステップに進めると思っています。

部会長

はい、ありがとうございます。

委員

すみません、キセラ丸の使い方の部分で土日にイベントをやっているのにキセラ丸が使えないとか、その部分についてですけれども。

公園の利活用ガイドラインを、まさにみどり部会の皆さんのお知恵とかアイデア、お力をいただいて作ったところなのですが、あれを作ったタイミングではキセラ丸がありませんでした。公園の利活用ガイドラインができて、動いてきて、今の位置付け的には公園の附属物なので、そこに則ってキセラ丸の方も貸し出し、という位置付けになるかと思うのですが、実際には建物なので、セキュリティが入っていたり、セキュリティキーを渡したりとか、そういったちょっと特殊な要素が出てきます。

そういった中で、また利活用ガイドラインで、またこの場で改めて議論いただいた中で、キセラ丸の使い方っていう部分もまた、決めていかなければならないだろうと考えています。

キセラカフェの中で発意・検討していただいているのですが、最終的にはまたこのみどり部会の場で諮って、アイデアをいただいて最終決定していくというかたちなので、そういう意味でも、今日改めてこの指トマレの活動であるとか、そういう動きの部分も共有したかったってところが正直なところです。

最終的に市として思っていますのは、利活用ガイドラインできっちりルール化した中で、決定したルールにきっちり合わせて貸し出しをしていきたいというのが思っているところでございます。

委員

その目途っていつぐらいで考えてらっしゃるのでしょうか。

#### 委員

当初、実は去年ぐらいの案としては、今年度のまさにこの場ぐらいで、実はもうちょっと早めに提案をいただいて、この場ぐらいでまず第1回目の案としてかけていければという思いのスケジュール感だったかと思うのですが、いかんせんコロナの関係で集まれず、若干スケジュールが後ろ倒しなっているのであろうと、そういう実感でいます。合っていますか？

#### 副部長

合っています。

#### 部長

はい、ありがとうございます。

2つご指摘いただきまして、まずそのマネージング組織とプレーヤーの違いっていうのは確かに明確にしておくべきかと私も思います。

先ほどの副部長のお話でいきますと、コンシェルジュチームっていう言い方そのものがやはり何となくマネージャー側を目指して立ち上がっているところだと思えますけれども。なので、この図でいうと、本当はキセラカフェというのは自由なプレーヤー集団の集まりで、この指トマレプロジェクトの方はマネージャー集団をつくるためのものっていう、本当はそういう切り分けなのかなって気がします。ただ、今ご説明いただいた通りそこをもう1回再整理していただいて、明確な組織づくりをしていただいているということなので、そのまま進めていただくということでもいいのかなということかと思えます。

ただ一方で、その2つが全然ばらばらにやってもしょうがないので、密に関係し合いながら、特にどちらかというとそのプレーヤーの自由な活動を促進するためのマネージャーというような、そういう位置付けが重要なのかなと思いますので、不可分なところも多分出てくるのかなという気はします。

それから、もう1つ指摘いただいたキセラ丸のご使用ルールの件はご指摘の通りだと思いますので、今、委員からもありました通り、この場で諮りをして一体的な公園のマニュアルと一体的なものとして作っていくっていうことを、できれば急いでやるということかなと思いますけれども。

これに関しては、市民側が立ち上がってキセラ丸のルールを考える動きが出てきたということをお大切に育てていただいている部分もあって、行政側でルールを作って、「これでどうですか」って投げるのは実は簡単だと思うのですが、そうせずに少し我慢しながら、というか、一緒に歩み寄りながら作っていているというプロセスには、それはそれで価

値があるかなというふうな気もします。そのプロセスに入ろうと思ったら一応入れるっというふうな、門戸は開いていただいているという意味においては、機会の平等っていうのは確保できるのかなと思います。なので、周りを全く排除して知らないうちに閉じた団体がルールを作っているということではなくて、市民の中の団体が、そこに参画することができる市民の場でルールをつくっていくという、そういうプロセスを経ているので、少し時間がかかっているということかなというふうに思います。メリットデメリット個々あると思いますので、極力そこは早くやる事ももちろん重要かと思いますが、大まかにルールがあるということなので、いくつか試行していただいてからっていう感じですかね。こんな感じのルールで大丈夫かっていうのを試行していただいてから、この場にかけていただいた後もですね、どんどん変えていっていただくということもいいのかと思いますので、そういったかたちで作っていけるといいのかな、と思いました。

#### 副部長

思い出しました。昨年度末ぐらいに、コロナがあったので残念なのですが、お試しをやってみようということで、お試しをしたグループにキセラ丸の使い勝手について、さらにアンケート的に助言をもらって、そのルールをブラッシュアップしたものを一度然るべき場所で諮っていただくかという話があったように思います。なので、今年度中までの使用・活動実態から、一旦作る方向に行くのではなかったでしょうか。

#### 部長

はい、そのようなスケジュール感で進めていければと思います。ほかにいかがでしょうか、どんなところでも結構です。

はい、お願いします。

#### 委員

キセラカフェについてですね、コンシェルジュチームだったなあとと思っているのですが、副部長が中心になって進められている中で、その集まって来られる市民の方って、どういった方が来られているのかというの、その場に行かないとわからないので、今聞いても意味のないことかなと思いつつ、人数はどれくらいですかとか、始めたときからずっと未だに手伝ってくれている人って誰ですかとか、いろんなことを聞いてみたいのですが。長く外で回されていると、人って移り気なので結構コロコロと変わってってしまうのですよね。

それを、良いと捉える事も大事かもしれないけれども、それって副部長がいてくれるから大丈夫なだけであって。人って匂があると思うのでね、この指トマレプロジェクトに参加してくれるような人たちの、その匂をなんとなく逃したら駄目かなと思えるので、うまくそのタイミングを、そういう意味ではスピードを持ってやった方がいいのかもしれない



いので、そういったスピード感を少し大事にして欲しいな、と思います。

みどり部会の中で、今市民がどう考えていて、キセラカフェでどんな話をしてどんな人がいてっていうのが、正直皆さんわからないですよ、どういう楽しいことをしているのかな、という。それがわからない中で、これで市民の人に任せてやりましょうよって言っても、なかなか僕も側を離れているから、無責任な事は言えないな、と正直思っているところです。

言いたいのは、なんせ旬を越えないうちに早くリーダーの方を見つけて、その人を中心に進めて欲しいなって思ったりしますね。当然、副部長に委ねていますが、現場の人の顔が見えると面白いなと思いますね。

#### 副部長

この指トマレプロジェクトのことで言えば、今クローズドな感じでフェイスブックチームがあって、そこには関係者も含めて今23人登録があります。

オープニングイベントをしようって言った時は、わかりやすいので、結構たくさんの方が参加してくださって、その後毎月、去年の6月から7月ぐらいから毎月のミーティング開催だったのですが、そのあたりから、やはりさっきおっしゃったマネージンググループとプレーヤータイプとの差がはっきり出てきました。でも、マネージングに対して興味を持ってくださっている方が常時5~6人くらいですかね、来てくださっていて、その役割が違うんだみたいな話も前回、前々回ぐらいになっているので、そのマネージングもやっていこうかなという方々が今コアメンバーになりつつある状態です。

その方は皆さんご存知の方ですけども、その方からもっと見える化しようっていう提案があって、今、次年度から私たちのチームの活動の見える化をしていこうという話になっています。それで、その手始めに、できる時でいいので、キセラ丸にチョココンと座って相談を受け付けてみようとか、或いはキセラカフェの運営を一部、一緒に関わっていこうとか、そんなことを今言っています。おっしゃる通り、物事には勢いも必要なので、次年度はこのコロナの事を見ながらちょっと加速していく感じになるだろうなと思っています。

#### 部長

ありがとうございます。大事なご指摘だったと思います。

そういったかたちでみどり部会でもフォローしつつ、活動を見せてもらいながら、逆に言うところから側からどんな事ができるのかっていう考える材料として、そういう情報発信していただけるとすごくありがたいなという気もいたします。

はい、ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

いずれにしましても、冒頭部長からもありましたが、公園ができて終わりではなくて、むしろこの計画が終わるっていうような段階において、少しステップアップするというか、

バージョンアップしていかないといけないようなタイミングが迫ってきているのは事実です。

それに向けて、市民の自治の力の中で動いていることも大切にしながら、そういう意味では、他の公園も色々やらせてもらっていますけれども、川西市の皆さんでこうやって取り組んでいる活動は、そういう意味では全国的にもすごく優れた事例だと思います。

コロナ禍で色々考えることは多かったと思いますけれども、何か1つの世界的なデモクラシーっていうのがもう1回見直されるような、そういう瞬間が多々あって、自国第一主義的な動きの中で、民主主義的ってなんだって話になったときに、ただ単に選挙でいくことがやっぱり民主主義じゃなくて、自分たちで自分たちの環境に参加して責任を持って、行動するということが、民主主義の基礎じゃないかという話もあります。そういう意味でもこういう公園の活動が、そういったデモクラシーを支える1つの基盤になっているっていうのはすごく川西市にとって大きな価値じゃないかなという気もするので、この活動をどうやってうまく転換できていくか、というふうな重要な時期だと思いますので、ぜひ皆さんもいろいろ知恵を拝借させていただきながら、いいかたちをつくっていければと思います。

ちょっと今日すぐにこれがいいというような答えが出るものではないかもしれませんが、今日ご提示いただいたような方向に向かってですね、議論が進められるように、こちらにも個人的にも材料を集められるところは集めたいと思いますし、皆さんの方でもぜひご協力を継続的にいただければというふうに思いますので、よろしくお願いします。そうしましたら、一応ここまでが議事ということになっています。

今皆さんにいただいた貴重なご意見を事務局に取りまとめでいただきまして、私のほうで確認させていただいた後、3月にエコまち協議会が開催される予定ですので、そこでご報告させていただくということでご了承いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

はい、では一任させていただいたということで取りまとめて私の方でご報告をさせていただきます。と思います。

ここまでが議事ですが、続けてその他の懸案事項案件ですかね、3点ほどございますので、そちらのほうもご説明併せてお願いできますでしょうか。

よろしくお願いします。

## 5 その他（懸案事項等）

- ・利活用ガイドラインにおけるロゴについて（参考資料3）
- ・キセラ川西せせらぎ公園にかかる評価方法について
- ・キセラ川西せせらぎ公園の将来イメージの共有化について

事務局

資料説明（参考資料3）

事務局

続いて報告させていただきます。

キセラ川西せせらぎ公園に係る評価方法についてです。

資料1でもご説明させていただきまして、また少しご議論いただいた内容で、現在の評価方法は定量的な評価にとどまっているというところがございます。その中でその他の評価方法としては、イベントの利用者へアンケートをとるといったこともやっております。例えばその中の意見として公園の認知度は3年前よりも向上しているという意見もご意見をいただいておりますが、あくまでイベントの利用者の市民ではないというところもありますので、中心市街地活性化協議会で調査されたアンケート同様、公園利用者に対するアンケートが必要かなと担当個人としては思いました。

方法についてはキセラ丸に設置するとか、また今開閉業務を委託しているシルバー人材センターにお願いするなど、いろんな方法があると思いますので、そういったところもあわせて事務局で検討したいと思いました。ここでは、その他アンケート以外の評価方法ですとか、また分析手法についてご意見いただきたいと思っております。

続きましてキセラ川西せせらぎ公園の将来イメージの共有化についてご説明させていただきます。こちらについては説明に係る資料等はございません。

キセラ川西せせらぎ公園やせせらぎ遊歩道の整備は、現在完了しております。整備にあたってはワークショップを用いて、市民意見を取り入れて計画した背景は皆様ご承知の通りかと思っております。そのような形で市民とともに作り上げてきた、せせらぎ公園やせせらぎ遊歩道ですが、10年後、50年後へといった将来の植栽のしつらえなどのイメージはありません。

一部せせらぎ遊歩道南線では、蛍の育成しやすい環境づくりのために、専門家に意見を聞くなどして、それは日常的に日々そのまま対応しております。

またキセラ川西せせらぎ公園については日陰となる高木が少ないといったことや、植栽の生育具合によっては、公園内の見通しが悪くなる、そういった課題が見えてはきているものの、その他植栽樹木に対してどういった計画で、また将来どのような樹形を目指して剪定していくべきか、そういったところにおいて事務局として苦慮しております。将来の

植栽のしつらえなどの検討やしつらえのイメージの共有化の手法・方法についてご意見をいただければと思っております。事務局からの説明は以上です。

部会長

はい、ありがとうございました。

1つ目の事項はロゴというより地図、案内図ですね。その変更という件です。

それからあと2つが公園の評価方法等と公園の維持管理の将来イメージをどうやって共有していくかという、そういうお話いただいたかなというふうに思います。

ちょっとどちらもなかなか簡単に行くような話ではないかもしれませんが、ぜひ皆さんからご意見・アイデアいただけましたら、今後の議論の中でも参考にさせていただければなと思いますが、いかがでしょうか。

副部会長

評価のことは、これは何回も何回もワークショップみたいなものをしないと、ちょっと思いついて言ってみたというのではいけないような深い案件かなと思っているので、それもさっきちょっと申し上げたみたいに、例えばその色々な受託事業などを行っている全国的なところでもスタンダードになるような項目がいるのではないかなと思う。宿題みたいな感じではないでしょうか。

部会長

確かになかなか難しく、私も実はちょっと研究として、そういうことに取り組みかけているところの事例とかもあります。

また報告できるようなものがまとまれば報告させていただければなというふうに思います。指標のとり方はいろいろあってですね、例えば経済的な指標として取るということも可能だと思いますけど、なかなかお金に換算するっていうのが果たしていいのかっていう面もあってですね。もう少し違う面で、さっきQOLの話もありましたけど、ここを訪れた人の生活にとってどう欠かせないものになっているのかというようなことがいかに目に見えて指標化されて評価できないかと、というようなことが考えられないかとか。

あとは環境とか都市の健全都市指数みたいなのがあったりするのですが、そういうものにおいて公園が果たす役割としてはどういうふうな項目を評価していけばいいのかということなんかで、うまく定性的なものの評価ができないかなとか、考えたりしますので、またそのあたりちょっと勉強していきたいと思っております。

はい、よろしく申し上げます。

委員

ここの評価の部分ですけれども、エコまち協議会で、部会長から言っていたいて、その

時に言っていたいただいたお言葉が正確にちょっと思い出せるわけではないですが、感じたことなのですか。

ここで今数値化している部分というのが利活用の申請をいただいて、申し込みいただいてっていう部分です。公園はそれ以上に日常使いされていることが多くて、そういった中で使い方ですとか、例えば、みんなあそこの公園遊びに行くのにテント抱えて来て使っているよとか、過去に部会長の事例紹介でお話しいただいているもので言えば、お父さんは寝ているけれど、横で子どもが木の箱持ってきて横で宿題しているだとか。

そういう日常使いの多様化というか、そういうことって非常にポイントで、じゃあそれをどう数値で評価というかたちで転換するのかというのが、もう全くそのつながりが全然イメージが湧かないので、今後も継続してこういったことをずっとこういった場でアイデアであるとかそういったことをいただきながら検討していければと思っているところです。今後、良いひらめきとかがあれば教えていただければなと感じている次第でございます。

#### 部会長

利用実態調査をやってみるのはいいかもしれませんね。国交省が大都市の都市公園かな、を対象に5年に1回ぐらい全国で利用実態調査というのを実施してしまして、公園規模別に全国の公園の利用の実態を朝から晩までずっと定点観察するのですが、そういうのはわかっているので、例えばそれと見比べて、キセラ川西せせらぎ公園に使われ方がどんな特徴があるかっていうのは見るようなことができると思います。

まず、それが全国ベースと一緒にあったらいいのか、違う特異的な活動があるのがあるのか、そこを評価するっていうのはなかなか難しいのですが、でも少なくともこの先どんな活動すればいいとか、新しいアクティビティの芽を生むとあっていう面においても一度、利用実態調査をつぶさにやってみるっていうのは、すごくベースのデータとしても意義があるかもしれないなと思うので、またそんなことでよければご協力できることもあると思いますので、引き続きよろしくお願いします。

皆様の方はいかがでしょうか。

もしよければ、少しまだ時間がありますし、せっかく各部局の皆様もお集まりいただいているので、よろしければ、参加者のみなさんから一言ずつキセラ川西せせらぎ公園に対する思いとか意見とか、こんなことがあればいいんじゃないとか、うちのところでやっているこの事業と連携できるのではないかと、など、なんでも結構ですので、少し、感想でもいいので一言ずついただければと思いますが、じゃ、順番にマイク回していただいでよろしいですか。すみませんありがとうございます。

## 委員

### 各委員よりコメント

#### 副部長

すいません最後に1つだけ、私たちは市民的な立場でも、ある意味運営に関してはプロフェッショナルになりたいなど、思いながら活動していくわけなのですが、一方ちょっと自分の中で難しいなと思っているのが、その運営と管理はやっぱり違うのかなという。今指定管理事業をやっていまして、11年やってきているわけですが、運営と管理が違うかな、というところが結構難しいところですね。なので、この公園ももっとそれなら大規模にあらわれてくるわけなので、その辺の今後の仕組みみたいなのも、従来型じゃなくこの公園にフィットしてそれに携わりたいと思っている人たちの思いにもフィットするようなかたちで、それはもしかしたら部会長も時々おっしゃっているけれども、今までにない日本初になるかもしれない。でもそういうことにも果敢に取り組んでいけるような、どんどん若い方が取り組んでいかれたらいいと思っていて、私は自分の経験がちょっとした知見として、「それやるよりこっちをしたほうが良いよ」みたいな、過去の経験に基づいた知見などで今後サポートできたらいいかなと思っているのでまた宜しくお願いたします。

#### 部長

皆さんありがとうございます。すいません司会の進行がまずくて、少し時間オーバーしてしまったのと、こんなに喋っていただけのだったらもっと早くからマイクを回しておけばよかったという2つの失敗をしてしまったので、次回から気を付けたいです。でも公園の持っている価値ですね、いろんな立場から関わることができる場所が公園だと思うので、その特性を生かしてですね、価値をさらに高めていってですね、公園の中だけじゃなくて、エリア全体・地域全体に広がって行くような、そんな活動が展開できればな、というふうに私も期待しておりますので、引き続きよろしくお願いたします。そうしましたら最後に事務局のほうからご案内がございます、お願いたします。

#### 事務局

- ・ 今後のみどり部会の開催予定について
- ・ 駐車場の利用について

## 閉会

部会長

はい、すいませんそれでは時間超過してしましまして申し訳ありませんでした。以上持ちまして、第7回のみどり部会を閉会したいと思います。引き続きよろしく申し上げます。皆さん今日はどうもありがとうございました。